

Working Group 1 : SWPTの世界標準をベースに相互運用性を目的とした国内規格案の検証と整理

EVワイヤレス給電協議会・事務局

提案者：株式会社ダイヘン/WiTricity Japan株式会社

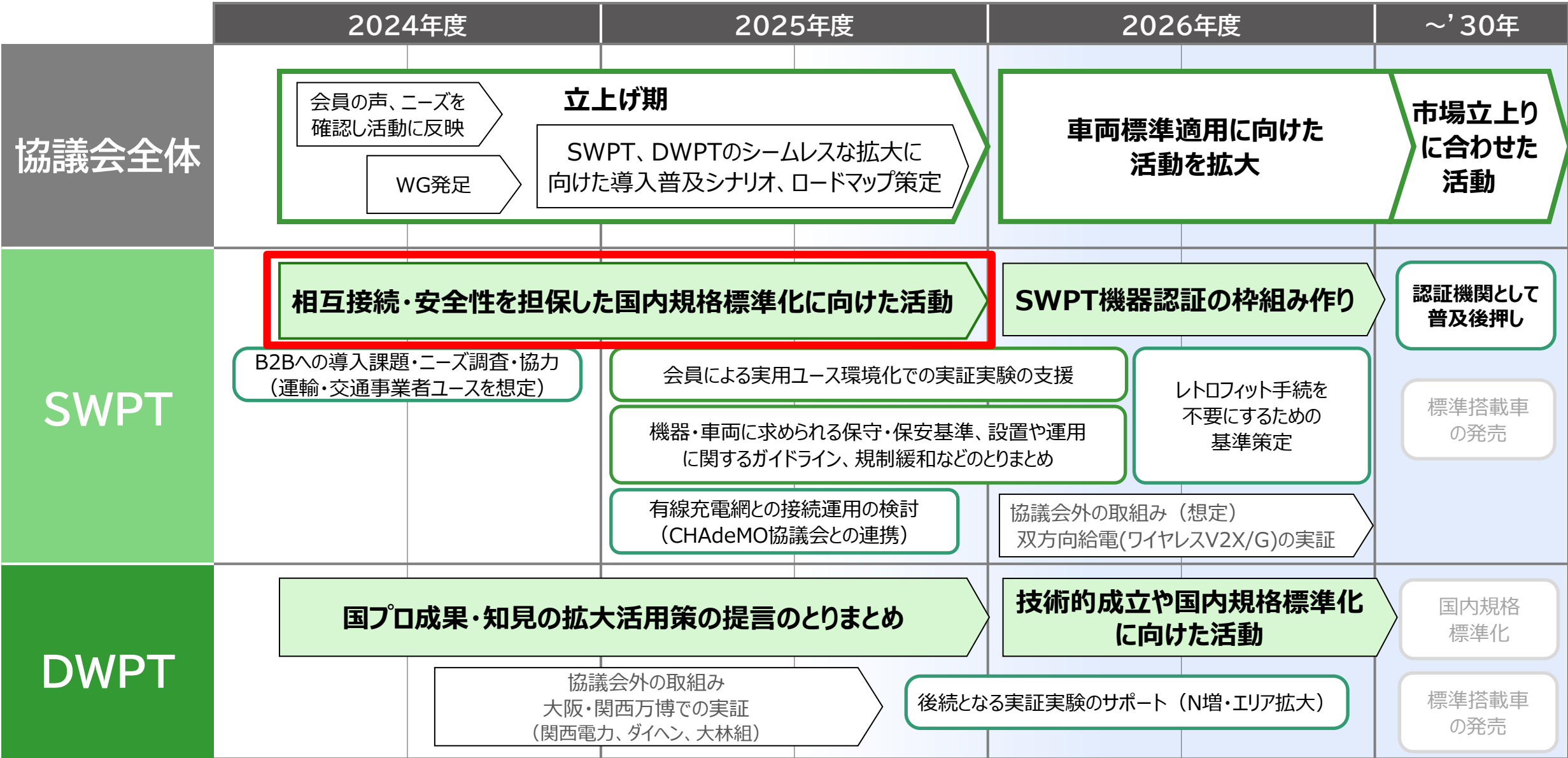
第1回：10/15/2024



アジェンダ

1. 本WG概要の説明
2. メンバー紹介
(各社 1 分程度：出席者のお名前、本WGへの期待値、取り組みたいことなど)
3. WPTのグローバルスタンダードについての説明
※お時間次第では次回のWGに変更する可能性もございます。
4. 初期議論（WG出口、参加者の役割、今後の進め方など）
5. 次回の議論内容・宿題

参考) 3カ年計画



1. WG① SWPTの世界標準をベースに相互運用性を目的とした国内規格案の検証と整理

提案者		ダイヘン/WiTricity						
提案件名（WG名）		SWPTの世界標準をベースに相互運用性を目的とした国内規格案の検証と整理						
提案内容概要	背景・狙い	すべての日本国内のSWPT製品の相互運用を実現するための規格の共通認識の確立と準拠。 またその規格はグローバルの規格にも準拠している。						
	内容	日本の自動車OEMを含むSWPTの製品を研究開発、および製造、組付けをする予定がある製造関連企業と世界標準をベースにした国内規格案の整理と検証を行い、グローバルで商品展開でき得る規格の共通認識の確立を目指す。						
	計画 (目標、マイルストーン、開催頻度、開始時期など)	・ 9月の幹事会での承認後、可及的速やかに正会員向けに展開、発足。 ・ マイルストーン：2024年度の活動とし、2025年総会で規格案の報告。 ・ ハイパワーSWPTにおいても、Sub-WGとしての発足を計画。						
	体制 (リーダー、想定メンバー)	リーダー：ダイヘン、メンバー：WiTricity 想定メンバー：SWPTの製品を研究開発、および製造、組付けをする予定がある製造関連企業						
成果の帰属		協議会のWGからのガイドラインとして発信						
協議会活動での位置付け、他WGとの連携		<table><tr><td>EVワイヤレス給電協議会活動内容との関連性</td><td rowspan="4">標準化活動の推進への協力、他WGへのインプットとする</td></tr><tr><td>EVワイヤレス給電の社会インフラ化の推進</td></tr><tr><td>実用化・普及促進の対外発信・啓発</td></tr><tr><td>○ 標準化活動の推進への協力</td></tr></table>	EVワイヤレス給電協議会活動内容との関連性	標準化活動の推進への協力、他WGへのインプットとする	EVワイヤレス給電の社会インフラ化の推進	実用化・普及促進の対外発信・啓発	○ 標準化活動の推進への協力	
EVワイヤレス給電協議会活動内容との関連性	標準化活動の推進への協力、他WGへのインプットとする							
EVワイヤレス給電の社会インフラ化の推進								
実用化・普及促進の対外発信・啓発								
○ 標準化活動の推進への協力								
協議会予算の申請有無、理由		なし。 2024年度においては各企業からの構成員の工数のみとし、追加予算は不要のかたちで進める。						

メンバー紹介（敬称略）

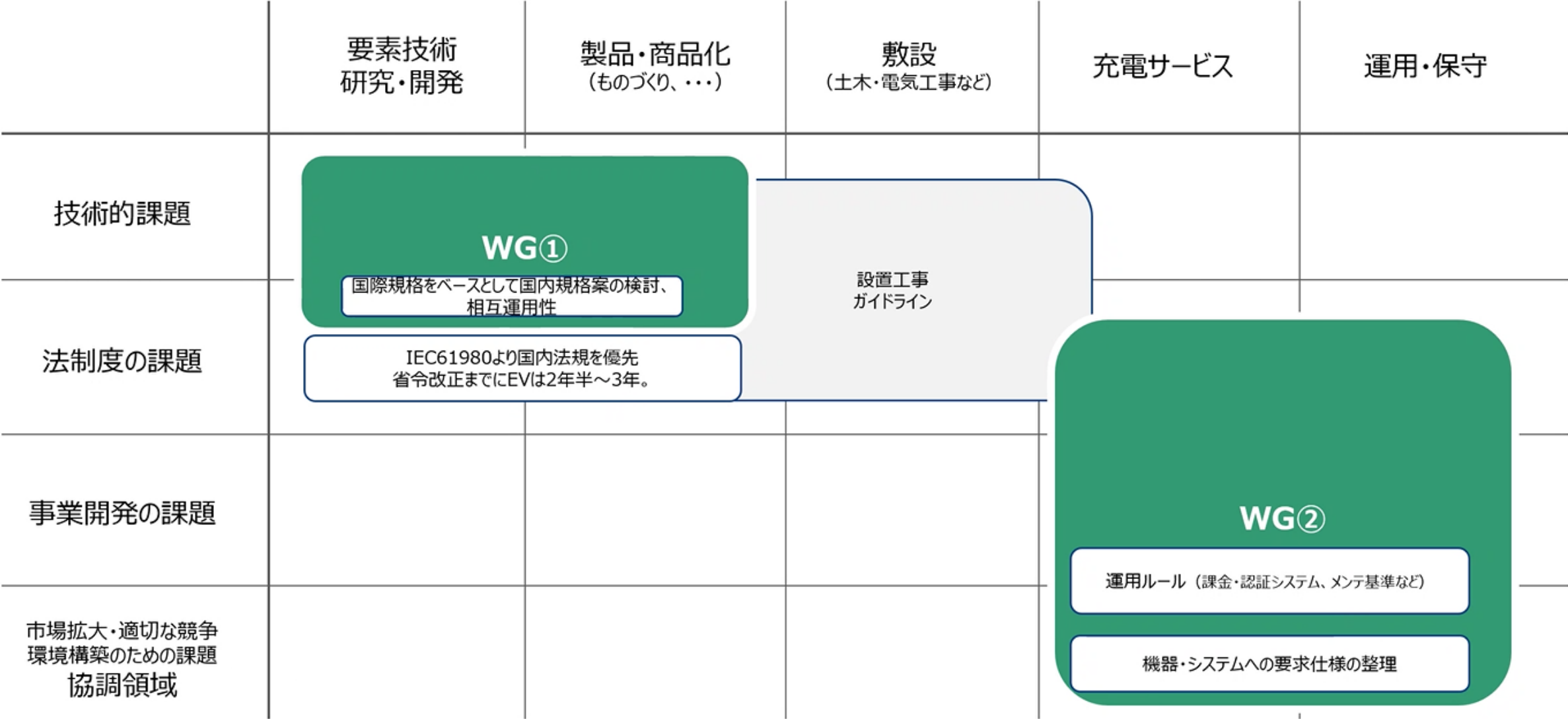
参加者	名前	出席
株式会社EVモーターズ・ジャパン	羽田	○
IHI運搬機械株式会社	日置	○
株式会社セルコ	浅沼	○
菊水電子工業株式会社	杉山	○
	渡邊	
	松林	
YKアクロス株式会社	松嶋	○
	佐俣	○
大日本印刷株式会社	宮川	○
名古屋大学 パワーエレクトロニクス研究室	増田	
ダイキン工業株式会社	國井	○
	和田	
株式会社東陽テクニカ	田中	○
株式会社東京アールアンドデー	福田	
島田理化工業株式会社	田内	○
タツタ電線株式会社	勝矢	○
	川上	○

参加者	名前	出席
旭化成株式会社	松村	○
	内田	○
東レ株式会社	庄司	
	徳住	○
	森岡	
本田技研工業株式会社	橋野	○
新電元工業株式会社	一杉	○
	(善林)	
スミダコーポレーション株式会社	(松岡)	
	百井	○
	三浦	○
株式会社東海理化電機製作所	神崎	
	古賀	
	青谷	○
	古池	○

メンバー紹介（敬称略）

参加者	名前	出席
シナネン株式会社	恩田	○
	鴻野	○
	星田	○
株式会社ダイヘン	鶴田	○
	衛藤	○
	松野	
	築山	
	中矢	○
WiTricity Japan 株式会社	岡田	○
	戸田	○

初期議論（WG出口、参加者の役割、今後の進め方など）



初期議論（WG出口、参加者の役割、今後の進め方など）

◆ Open Discussion

次回の議論内容・宿題

- ◆ リーダー、サブリーダーの募集
- ◆ WG運営メンバーの募集（WEV事務局との連携）
- ◆ 機器に限らずWPT関連メーカー様より製品開発においての現在の状況（開示可能な範囲）